新潟県立西蒲高等特別支援学校

令和５年度　学 校 経 営 方 針

組織力の強化による揺るぎない学校運営

学校組織を盤石なものにすることで，本来の教育実践の成果を最大限に発揮できると共に，多様な対応事案にも落ち着いて的確に向き合えます。その大きな要因が，情報の流れです。情報の流れは血液の流れと同じ，流れが滞れば詰まり，流し方を間違えれば切れてしまいます。「報告・連絡・相談」を徹底し，さらに「確認」を怠りません。全教職員が，組織の一員としての意識を強くもって，「チーム西蒲」を作っていきます。

「学校の当たり前を疑う」⇔「当たり前を大切に」

社会は急速に変化しています。先入観や固定観念にとらわれることなく，小さなことから大きなことまで，全教職員の英知を結集して，さらに学校の改革・改善を進めていきます。視点は，学校の当たり前を疑い，意義，実効性から再考することです。働き方改革と教育の充実は両輪でなくてはなりません。目的は「教育の充実と働きがい」，成果は生徒に返ることが大前提です。

そして，日々の学校運営や教育実践は，地道でていねいに行わなければなりません。当たり前のことをしっかりと，「凡事徹底」の意気で，以下を重点としていきます。

1 生徒の教育的ニーズや進路希望の把握と自立を育む教育実践の充実を図ります。

〇生徒一人一人の実態，将来への希望や適性を，ていねいな見取りと客観的指標により把握します。

〇個別の指導計画に基づき，生徒一人一人の自立へ向けた指導・支援を継続して生徒の変容を把握，指導と評価の一体化による教育実践の充実を目指します。

2 社会参加する力を育む機会の設定と進路実現のための指導･支援の充実を図ります。

〇生徒一人一人が社会人となるための基礎的な知識・技能を身に付けられるよう，個別の指導計画に基づいた教育実践を進めます。

〇生徒一人一人が社会性を身に付けられるよう，社会資源を有効活用するなど，指導内容を精選して教育活動の機会と場を工夫していきます。

3 安全･安心を保障する学校づくりを進めます。

〇教職員が生徒の些細な変容に気付く目をもつとともに，気になる情報がすぐに共有され,いじめや問題行動にかかわる事案が起きた場合は，即時対応に努めます。また，生徒同士，生徒と教職員の温かな関係の中から，いじめ等の未然防止に努めます。

〇社会の動向や生徒の状況に基づいて，感染症予防対策等の保健安全面，施設管理等の環境安全面の見直しと充実を目指します。

4 保護者，関係機関，地域との連携，協働による教育活動の充実を図ります。

〇家庭と学校とは車の両輪，保護者と教職員が同じ方向を向いて，生徒の成長を育むための連携体制づくりと維持に努めます。

〇生徒の教育の充実と安定を図れるよう，各種関係機関や地域との連携を強化します。

5 教職員の専門性の維持･向上とセンター的機能の発揮を図ります。

〇OJT を通して専門性の継承を図るとともに，今日的課題に向き合える専門性の発展を目指した，効率的で実効性のある校内研修を推進していきます。

〇保護者，他校の教職員，地域からの相談を積極的に受け入れ，特別支援教育のセンターとして力を発揮できるよう努めます。